

sinrei 榛藜

群馬県立農林大学校

〒370-3105

群馬県高崎市箕郷町西明屋 1005

TEL : 027-371-3244

FAX : 027-371-6968

<http://www.gunma-iaf.ac.jp>

榛名登山 (平成30年5月17日)



思い出が詰まった2年間



野菜コース



花き・果樹コース



酪農肉牛コース



社会人コース



農と食のビジネスコース



森林コース





農林大校章

タスキを繫ごう

校長 高橋 英一



二年生の皆さん、卒業おめでとうございませう。

殆どの人にとって、初めての親元を離れての寮生活。そして、実践学習中心のカリキュラム。皆さんの頭の中には、今、この二年間過ごしてきた農林大での学生生活の様々な思い出が、走馬燈のように映し出されていることと思います。

日々行われた教室での講義、仲間と協力して大事に育てた作物や動物たちへの思い、辛かった榛名登山、大きな声援を受けながら頑張った四県スポーツ大会、みんなで盛り上がった榛の木祭、そして長い期間取り組んだ研究成果を発表したプロジェクト発表会。

皆さんは、四月から新たなステーションを迎えますが、こうして農林大での貴重な二年間の思い出と、かけがえのない友達を生涯の宝物として、これからの人生を切り開いて行って欲しいと思います。

毎年一月二日・三日に開催される箱根駅伝を観戦したことがあると思いますが、時間制限でタスキを繫ぐことが出来ない大学が出てまいります。あと十秒、五秒、すぐ手前まで選手が見えていても、自分の大学のタスキを受け取れず、繰り上げスタートとなってしまう、タスキを渡す選手、受け取る選手、共に大変悔しいと思います。しかし、選手は仲間の汗の染み込んだタスキではありませんが、新たなタスキで、あきらめずにゴールを目指して一生懸命頑張ります。

本校は、来年、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックの年に、農業技術員養成所から数え百年を迎えます。今や卒業生は一人を超え、本県農林業を支える農林大ネットワークとなっています。社会に出て、困難な時、悩んだ時は、農林大というタスキで繋がったこのネットワークを思い

出して下さい。きっと皆さんを助けてくれるはずですよ。これからも、農林大というタスキを繫いでいきましょう。

恐れず挑戦を

後援会会長 清水 文明



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。心からお祝い申し上げます。

二年間の学校生活は、保護者の私たちからみればあっという間でした。農林大学校に入学したのがついこの間の様です。

無事に卒業を迎えることができ、一回りも二回りも成長した皆さんの姿を見て、保護者としては、一抹のさみしさを感じつつも、大変嬉しく思っています。これもひとえに校長先生をはじめ教職員の皆様のおかげと感謝申し上げます。

卒業生の皆さんにとって、家族よりも長い時間を仲間たちと過ごした二年間の寮生活の思い出や榛

名登山などの貴重な経験は、きっとこれからの心の支えとなり、一生の宝物となることでしょう。

これから皆さんは社会人としてそれぞれの新しい道に一步を踏み出しますが、長い人生の中で思い悩むことや立ち止まることもあるでしょう。また、新しいことに挑戦するのは怖いと感じることでしょう。そんなとき、農林大学校での経験や友人はきっと大きな力となる筈です。エジソンは次のように言っています。

「成功できる人って言うのは、思い通りに行かないことが起きるのは当たり前という前提を持って挑戦している。」

農林大での経験や友情を力に、何事も恐れずに挑戦をしてください。

農林大学校は二〇二〇年に創立一〇〇周年を迎えます。伝統ある学校の卒業生として誇りを持ってこれからも頑張ってください。

卒業生の皆さんの益々のご活躍と校長先生並びに教職員皆様のご健康と農林大学校のご発展をお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

学校生活の思い出

卒業生

野菜コース二年 大澤 郁也



私の農林大学校での思い出は、寮生活です。入学をした頃は不安と緊張があり、部屋のメンバーとお互いに仲良くすることができると心配していましたが、日が経つにつれて、気軽に話すことができ、落ち着く事ができる場所となりました。

二年生になると、部屋替えを二回し、特に部屋移動の際に荷物を運ぶので、量が多かったり重たい物があるときには、苦労をする事とがありました。部屋が同じメンバーと気楽に話せて、仲良くすることができたので、良い思い出となりました。

農林大学校での二年間は、長いようで短かったです。自分なりに学校生活を満喫することもでき、

良い経験にもなりましたので、入学して良かったと思えました。仲間と職員の方々には、大変お世話になり、感謝しています。本当にありがとうございました。

花き・果樹コース二年 須藤 夏美



入寮当初は、不安でいっぱいでしたが、ルームメイトとすぐに打ち解けることができました。また、他のコースの人とも仲良くなり、高校より充実した学校生活を送ることができました。農林大の仲間と出かけた思い出は日々はとも大切な思い出になると思います。コースの仲間達と共に実習を行った時間は卒業後も励みになります。

中でも、榛の木祭はコース全員で協力し成功させることができました。昨年度の榛の木祭を経験したからこそ、お客様の要望をくみ取り的確に声かけすることができたと思います。今までの自分だったら声をかけることができません

でしたが、実習や農林体験学習が自信となり、自身の成長を感じる事ができました。

このような経験は、将来就職などに役立つと思うのでたくさん経験を積んで学校生活を送って下さい。

酪農肉牛コース二年 竹内 一樹



私の農林大学校の一番の思い出は、自分の名前がついた子牛が生まれたことです。農林大学校では、分娩を最初に見つけた人が名前をつけるか、コースの学生の名前をつけていくという二つの方法がありました。

ある日、一頭の和牛の子牛が生まれました。体はとても小柄で、体重は二十六キロしかなく、まるで犬のような姿でした。私も体は小柄で、体重も軽いほうだったので、私の名前から「和輝」とつけられました。「和輝」は小柄なところで、餌槽という餌を入れるところに入り込んだり、牛なのに「モ

ー」や「バー」と鳴かずに「グー」と鳴く、とてもかわいらしい子牛でした。獣医の先生からも「和輝にはアニマルセラピーの効果があるよ」と絶賛するほどでした。

現在、「和輝」は成長して農家さんに飼われています。「和輝」はきつとたくましくなっているはずなので、私もたくましくなれるようにがんばりたいです。

社会人コース 嶺岸 卓也



農林大学校に通い始め一年になります。社会人を経ての入学で他の人より少し長い学校生活を送っています。学校生活の中で様々な勉強をしましたが、高校は化学系を志、大学は機械系、就職後は情報系の勉強をしました。環境が変わる度に周囲から「勿体無い」と言われたことが印象に残っています。ただ、基本的な技術が実用化された昨今では、一つの分野の知識だけでは生き残れないと思うのです。一つ

の分野を突き詰めることも大切でしよう。しかし知識を活用し、実用化を考えた際には一つの分野だけでは実現できません。実際、機械系では機械・電気・情報を複合させた分野も主流になっていきます。知識を活用可能な状態に昇華し複合的に考えることが最も大切なことだと思えます。私は農業をするにあたり経営という新たな勉強に入ります。皆様も井の中の蛙にならず、臆せず新たな分野の勉強を行って欲しく思います。

農と食のビジネスコース二年

石倉 貴史



農林大に入学してあっという間に二年間が経ちました。

一年生の時は全寮制で入寮時是不慣れな環境に不安な気持ちがありました。

しかし同じ部屋の仲間が話やすく、すぐに慣れ寮生活になじむことができました。

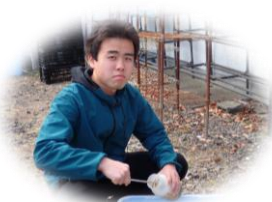
また、課題研究が始まり、試験を行う中で研究が失敗したり、発表の

準備に時間がかかり遅くまで残ってまとめを行うことができました。しかし、最後はしっかりと発表までやり切りました。

他にも先進的な経営を行っている農家に農業を学ぶため、現地で農家のやり方や経営の仕方などを学びました。西洋野菜といった珍しいものを栽培する貴重な体験もでき、経営などについても学ぶことができました。

農林大での二年間で、農産物や人間関係について学びました。私はここで学んだことを社会に出ても生かしていきたいと思えます。

森林コース二年 鈴木 詩苑



私の農林大学校での思い出は、軽音楽部での活動のことです。私は音楽に対して興味はあったのですが、一年生の頃は軽音楽部に所属していませんでした。時が経ち、一年生のおわりに部活動の引継ぎがありました。同級生の中で軽音楽部を引き継ぐ人がおらず、このまま

は軽音楽部が廃部となる状況に直面しました。その時に、先生方が私に「詩苑君、引き継いでくれないか？」と唐突に言われました。戸惑いはあったものの、幸いにも私の父がベースを所持しており、先輩方が卒業し、年度替わりの良いタイミングだったので私は父からベースを譲り受け、軽音楽部を引き継ぎました。二年生になり軽音楽部に一年生が入部し、とても嬉しかったです。演奏する機会に向けて皆で精一杯練習に励みました。皆、やるときはやり、遊ぶときは遊ぶ、とても良い子でした。私はこの軽音楽部を引き継ぐことができ幸せでした。

卒業生へのメッセージ

在校生

野菜コース一年 竹内 美優

二年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方からは、日々たくさんのお話を教えていただきありがとうございました。入学して間もない何もわからない私たちにしっかりとご

指導いただき、とても感謝しております。ありがとうございます。ございました。



農林大学校の二年間を終え、今までは違う世界に進まなければなら

ない先輩方は、多くの不安を抱えていると思います。ですが、農林大学校で学び、経験した事を糧に頑張ってください。応援しています。

野菜コース一年 豊口 和輝



この度ご卒業される先輩方、誠におめでとうございます。

先輩方には、実習から年間行事や部活動など様々な場面でお世話になりました。

その中でも特に印象に残っているのが日々の実習です。農業高校で行っていた実習ではなく、実際の現場での作業を見ているのかと感じました。そんな忙しい実習

中も、何もわからない私に優しく指導していただき、本当にありがとうございました。ありがとうございました。

先輩方の益々の活躍を心より期待しています。

花き・果樹コース一年 佐野 媛加



二年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。

一年という短い間でしたが、榛の木祭では、てきぱきと作業をこなす作業を見て私もそうならなくてはと思います。課題研究では、投げ出すことなく取り組み姿を見て、私も課題解決のために先輩方のようにしっかりと成果を出したいと思いました。今まで教えていただいたことを今後の勉学や実習に活かしていきます。

最後に、本当にお世話になりました。先輩方のこれからの活躍をお祈りしています。

花き・果樹コース一年 表 和宏

二年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。

農林大に入校してすぐに、専門的な実習や経営当番などが始まり、普通高校出身の私に



基礎的なことを優しく丁寧に教えていただきました。

榛の木祭では、ジャムやリンゴ飴作りなどで、朝早くから夜遅くまでとても大変でしたが、先輩方と成し遂げることができて良かったです。

一年というとても短い間でしたが、大変お世話になりました。

酪農肉牛コース一年 小倉 凌斗

二年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。

私たちは、先輩方から酪農業の沢山の知識と技術を学ばせていただきました。入学して



間もなく、まだ学校や寮生活に慣れず緊張気味だった一年生の私たちに、実習や当番作業でわからないことがあったとき、丁寧に優しく教えてくださいました。私にとって偉大な先輩方につか追いつけるよう、教えていただいた恩を忘れず、日々精進していきたいと思えます。最後になりますが、ご卒業される先輩方の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

酪農肉牛コース一年 松井 輝

二年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

一年間という短い時間でしたが先輩方と過ごしたこの一年は何よりも濃い一年となりました。

まず部活動では未経験者の多かった私たちに親身になって指導してもらい、その結果四県スポーツ大会では優勝することができました。来年も新入生とともに優勝を目指したいと思えます。

そして酪農コースの先輩方は実習や慣れない寮生活でたくさんお



世話になりました。入学当初はわからないことだらけで迷惑かけてばかりでしたが先輩たちの後姿を見て、たくさんのことを学びました。

卒業して様々な道に進む先輩達のご活躍を期待しています

農と食のビジネスコース一年 田島 栞

ご卒業おめでとうございます。

先輩方はとても明るく元気な方が多いと感じました。

校内スポーツ大会や四県スポーツ大会、榛の木祭など先輩方との交流も多く、とても有意義な時間を過ごせることができました。特に思い出に残っていることは、四県スポーツ大会のバスケットボールで優勝したこと、榛の木祭の準備や当日の作業を協力して行ったことです。これから先輩方は別々の道に進むと思いますが、活躍されることを期待しております。がんばってください。



農と食のビジネスコース一年

松丸 穂香



「ご卒業おめでと
うございます。
農林大で過ごした
日々はいかがでし
たか？私は、先輩
方のおかげで充実
した一年間になり
ました。」

その優しい頼も

しい背中がもう見られないという
現実に寂しい気持ちでいっぱい
です。しかしながら、そんな素敵な
先輩方の門出だからこそ素晴らしい
ものになると信じています。

平成も終わり新たな時代の幕開
けをする今、社会人としての一歩
を踏み出す皆様に心ばかりですが
エールを送らせていただきます。

どうぞお体に気をつけてお過ご
してください。

森林コース一年 小淵 斐人

私は、農林大学校に入校する前
は、特にスポーツをする気も無く
ぼーっと学校生活を過ごすつもり
でした。しかし、野球部に誘われ



一度練習に参加し
てみたところ、高
校の部活動とは比
べものにならない
くらい楽しく、入
部することを決め
ました。先輩方
は、優しくわかり
やすく指導してく
れました。時にはご飯をごちそう
してくれたり、四県スポーツ大会
の後はバーベキューを準備してく
れました。
とても感謝しています。私は来年
先輩方を見習って後輩達に接して
いきたいと思っています。

森林コース一年 中村 真悠



「ご卒業おめでと
うございます。先
輩方との思い出は
たくさんあります
が、中でも印象に
残っているのは、
十月の終わりにあ
った榛の木祭の前
夜祭です。ダンス
部に誘っていただ
き、違うコースの普段関わったこ

との無い先輩方とも練習し発表で
きたことが嬉しかったです。

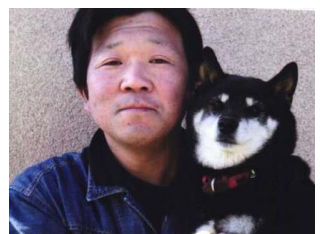
放課後や夕食後に集まり、皆で
ダンスしているときは、高校生時
代に戻ったような感じがして楽し
かったです。

初心者の私に丁寧に教えていた
だき、ありがとうございました。

保護者

「業立つ皆さんへ」

森田 友矢
(酪農肉牛コース 森田 智貴)



希望と不安を胸
に、この学び舎の
門をくぐったあの
日から早二年の歳
月が経とうとして
います。生き生き
と逞しくも見える
今の姿を見ると、

時の早さに驚きを感じます。二年
に渡る学生生活や寮生活は様々な
思い出や出来事が思い起こされる
ことでしょ。毎日寝食を友に
し、一緒に笑ったり、時には悩ん
だり等々、同じ目標を持った仲間
同志が培った絆は、これからの永

い生涯でとても大切な宝物になる
はず。

これから進む道は一人一人違う
と思います。農業あるいは農業関
連産業だけ見ても更に多様性が要
求され益々厳しい状況になりま
す。

それぞれに社会人として歩み出
すと幾多の曲面にぶつかることが
あります。自分の力だけでは解決
出来ないこともあります。その時
に農林大での仲間が良き相談相手
になってくれるはず。農林大
で得たことを礎に新たなスタート
を切ってください。

ここまで見守り、育てて頂いた
先生方や全ての方々に感謝申し上
げます。本当にありがとうございます
ました。

「思い巡らす」

吉田 和美
(森林コース 吉田 大希)

農林大へ入学し、心配していた
寮生活も慣れた、一安心だった。
それからの私たち親の楽しみは、
学校生活の様子を聞くことだっ
た。



日に日に経験値を上げていく。授業もいろいろと興味深い。先生方、周りの人たちにも恵まれたと感謝しました。

二年間はあっという間だった。その期間、いろいろな人に助けられながら自分で新たな一歩を踏み出す舵を切った。「卒業おめでとう」

これからの行動は、全て自分で責任をとらねばならないよ。軽はずみな行いは、大きな災いとなって自分に返ってくる。どうか誠実に、丁寧に毎日を過ごして。私たちはいつも思っている。友達も、そして農林大の先生方も見ていてくれている。だから安心して、少しずつ、着実に前へ進んで行って欲しい。
農林大の先生方、全ての皆様大変お世話になりました。未熟な子どもが事故無く、素敵な学校生活を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

職員

花き・果樹コース長 狩野 正美



「ご卒業おめでとうございます。学生生活を無事に終え、これから社会人として羽ばたいていくことでしょう。どんな時も笑顔を忘れずに頑張ってください。」

環境は変わっても、日々の仕事の中で辛さや喜び、苦労や達成感の中、自分なりにその状況の中から、何かを学ぶことができればそれが成長へと繋がります。自分に誇りを持ち、自分らしく、自分を信じ、自分の責任で今後は戦略的に行動してください。自分自身の喜びと、人の幸せを与えていくような選択ができる大人になってください。大学での生活を通じて身につけたものは「学び」の大切さであったと思います。授業や実習、寮生活での友人との交流など農林大での時間は、人生に真剣に向き合う「契機」となっているは

ずです。これからは社会の現場での「本格的な学びの出発」です。ご活躍を期待します。

森林コース長 町田 初男



「ご卒業おめでとうございます。この二年間、思い返せばあっという間だったのではないのでしょうか。寮生活、榛名登山、校内スポーツ大会や四県スポーツ大会や

習、体験学習、課題研究、様々な経験をした学生生活に終わりを告げて、四月からは晴れて社会人となるわけです。皆さんは、農林大での寮生活を通じて、今まで全く違う経験をしてきた人とコミュニケーションをとるということを行ってきています。これから社会人として仕事をやっていくなかで、どうしてもひとりでは解決できないことにも多く向き合うことになると思います。そんな中で大切なのは人と人との繋がりで、コミュニケーションを大事にしてください。普段の何気ない人とのやり

とりの中から、自分では考えつきもしなかった解決策が出てきます。農林大の二年間で得た経験を糧に、これからの活躍を期待します。

ぐんま農業実践学校



農林大学校では、県内で就農を志す方を対象に「ぐんま農業実践学校」を開校しています。野菜の栽培管理技術等について、実習を中心とした研修を行っており、

ニーズに合わせた様々なコースがあります。

今年度は延べ一三〇名以上の方が入校し、二十代から七十代までの幅広い年齢層の方が、新たな農業の担い手を目指して学びました。日々の実習では、研修生が協力して行う農作業が多くあるため、連帯感が生まれ、かけがえのない仲間づくりにつながっています。



ます。

修了後、研修生は県内各地で就農し、高齢化や担い手不足などに直面する本県農業の活性化に向けて、地域農業の担い手としての活躍が期待されています。

く研修生の言葉く

ぐんま農業実践学校 専門技術課程

峯岸 恵美子



定年退職を機に、基礎からもう一度農業を学び直したいと思い、実践学校に入校しました。学校には幅広い年齢層の、農業を真剣に学びたいと集

った仲間がいました。

昔ながらの農業では育苗といえば地床育苗。学校で教わるセルトレイ育苗は計画的な播種・定植が可能で、自分にとって目から鱗の育苗方法でした。自宅でも復習を兼ね、実践してみました。「榛の木祭」では、販売する野菜の調製作業や模擬店を通じ、仲間とより深く関わることができました。

卒業後は実践学校で学んだ事を生かし、二〇アールの畑に新たに野菜を作付する予定です。最後に実践学校に携わる先生、職員の皆様に感謝致しますと共に、農業という同じ目的を持つ仲間に出会えたことに感謝します。

ぐんまイノベーションファーム

ファーム

平成三十年度に野菜コースと花き果樹コースで建設を進めていた『ぐんまイノベーションファーム』が四月から稼働します。これは、



最先端の高軒高温室

内閣府の地方創生（拠点整備）交付金を利用し、未来への投資という観点から群馬県の総合戦略に位置づけられる先導的な事業に必要な施設の新社・改修を支援するものです。農林大学校では、施設園芸の生産性革命をリードする拠点として、野菜コースのハウスを二棟新築し、八棟の改修を行いました。また、花き果樹コースでは十

棟改修しました。この施設を利用し、ICT技術を活用した最先端の複合環境制御により生産性、収益性を高める技術を実証します。特にキュウリ、イチゴ、バラを中心にICTの研究に取り組み農業技術センター等と連携して高度な技術を確立します。学生教育では、実践教育で学ぶ事ができるようになり、課題研究でも活かす事ができるようになります。今後も魅力ある先端技術を発信し意欲ある学生が満足できるように務めたいと思います。



温室用の電気等に使用するソーラー発電システム



自治会役員の紹介

運営や準備など様々な仕事をして時には衝突もありましたが、このメンバーで自治会をすることができて良かったと思います。本当に楽しかったです。



- 前列右から
- 副会長 鈴木 詩苑 (森林)
- 会長 栗田 瑠花 (野菜)
- 副会長 高木 宣玖 (農食)
- 後列右から
- 書記 菊池 智訓 (森林)
- 書記 堀口 栞 (農食)
- 会計 久保田未来 (花果)
- 会計 木村 涼音 (酪肉)